

## 三嶺の森をまもるみんなの会・総会記念「ミニ講演会」

日時：令和6年4月27日(土) 14時～15時30分

場所：香美市立中央公民館1階ホール

主催：三嶺の森をまもるみんなの会

参加者：林業行政、清流保全活動団体等 約30人

4月27日(土)、香美市内で標記講演会が開催されました。

主催者である「三嶺の森をまもるみんなの会」は、シカの食害からの森林の保護と再生を目指すNGO、NPOが結集して設立され、森林被害に関するシンポジウム等の開催や、市民ボランティアを募っての防鹿柵設置等の森林保護活動、児童環境教育への協力等、森林の保護と再生のための取組を行われています。

今回は、三嶺の自然を守る会に所属する、元「一ノ森ヒュッテ」管理人の内田忠広氏により「剣山山域のシカ食害と保護について」、三嶺の森をまもるみんなの会の押岡茂紀氏により「石立山のシカ食害・保護の変遷と今」をそれぞれテーマに、講演が行われました。

講演では、それぞれの山域におけるシカ食害の発生状況や、保護活動について紹介がありました。

県が行っている、防鹿柵を設置した部分としていない部分の状況を比較するモニタリング調査結果の紹介では、防鹿柵を設置した部分では、設置していない部分に比べて植生が明らかに成長しており、シカ対策の効果は一目瞭然でした。

しかしながら、標高差によるアクセスの悪さや、急峻な地形により、シカの狩猟が難しい場所もあり、対策の難しさについても考えさせられました。

シカの食害対策については、様々な課題がありますが、行政としても、三嶺の森をまもるみんなの会等、関係するみなさまと協力しながら、森林保護等の取組を進めていきたいと思えます。

